

環境と健康

気候変動、特に「地球温暖化」という言葉は、多くの皆さんに知られるようになってきました。また、近年では気候変動によると思われる影響が日本でも現れているとの報告もあります。それでは、気温はどの程度上昇しているのでしょうか。これから6回にわたって広島県の気候がどのように変化しているのかを気象台が日ごろから観測して蓄積しているデータを用いてお話ししたいと思います。



①気象台の紹介と気候

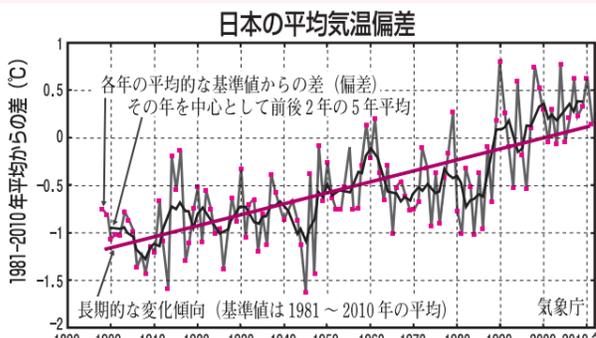
第1回目となる今回は、気象台の紹介と気候についてです。気象台は全国各地にあります。広島県は広島市に広島

地方気象台、呉市と福山市に無人の特別地域気象観測所(旧測候所)があります。気象台の業務は、皆さんもご存知のように気象の観測や天気予報および気象による災害のおそれがある時には警報・注意報等の防災気象情報を発表しています。

また、地震が発生した時には各地の震度や地震が発生した場所・規模等を発表しています。これ以外にも地球温暖化を含む気候変動の監視も行っています。

大気の状態のことを気象といいます。気象は、対象とする期間の長さによってその呼び名が異なります。天気予報で用

日本の気象の変化を監視 自然要因でない気温上昇観測



長期的な変化傾向(基準値は1981~2010年の平均) 気象庁

いている「天気」は数時間から数日間の気象です。また、数日から数か月間の気象は「天候」といいます。今回お話しする「気候」とは、数年から数十年間を平均した気象です。全国の気象台や特別地域気象観測所には、長期間にわたる品質の高い気温や降水量等の気象観測データがあります。このデータを用いて日本の気候がどのように変化しているか監視しています。左図は日本の年平均気温の経年変化です。この図から日本の年平均気温は年ごとや数年から数十年周期の変動を繰り返しながら長期的には百年あたり1.5度の割合で上昇しており、特に1990年以降、高温となる年が頻出していることがわかります。年ごとや数年から数十年の変動は地球の気候システムにもともと備わっている自然要因によるものです。

しかし、長期的には自然要因では説明できない気温の上昇が観測されています。この原因として二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加が考えられています。地球温暖化等の気候変動はこのように長期間にわたる変化です。次回からは広島県の気候の変化についてお話ししたいと思います。(広島地方気象台観測予報課 吉村 満)

昇が観測されています。この原因として二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加が考えられています。地球温暖化等の気候変動はこのように長期間にわたる変化です。次回からは広島県の気候の変化についてお話ししたいと思います。(広島地方気象台観測予報課 吉村 満)

地域活動支援センター事業概要

基礎研修は全市町へ講師派遣

地域活動支援センターは、環境協会の公益事業部門として、公衆衛生推進協議会(以下、公衛協)を主体としたコミュニティにおける健康づくり、環境づくりの支援を行っている。環境協会のミッション(目的・理念)である「総合的環境保健のま

ちづくりを実現するためのライフスタイルづくりと人財づくり」の達成に向けて、平成二十四年度事業を以下の三つの視点で推進する。

①リーダー養成事業の強化
公衆衛生推進協議会の実践部隊である「公衆衛生推進委員」の力量形成に注力。

②事務局機能の強化
平成二十一年度から取り組んでいる「市町公衛協事

務局活性化事業」で、公衛協の事務局を補佐する「機能リーダー(特命推進委員)」の育成・強化を図り、公衛協組織の活性化を目指す。また、支援期間を満了した公衛協への追加支援も行う。

③実践活動と脱温暖化のまちづくりの推進
全県共通事業の継続などを通じて、公衆衛生生活の拡充・拡大を図る。また、脱温暖化への取り組みを促進するため、各種団体と連携し、地域コミュニティを

全県共通事業の継続などを通じて、公衆衛生生活の拡充・拡大を図る。また、脱温暖化への取り組みを促進するため、各種団体と連携し、地域コミュニティを

協会の事務局を補佐する「機能リーダー(特命推進委員)」の育成・強化を図り、公衛協組織の活性化を目指す。また、支援期間を満了した公衛協への追加支援も行う。

協会の事務局を補佐する「機能リーダー(特命推進委員)」の育成・強化を図り、公衛協組織の活性化を目指す。また、支援期間を満了した公衛協への追加支援も行う。

協会の事務局を補佐する「機能リーダー(特命推進委員)」の育成・強化を図り、公衛協組織の活性化を目指す。また、支援期間を満了した公衛協への追加支援も行う。

きんせんか 琴線歌

TV番組「ラブ・グリーンスタイル」に携わって三年余り。昨年の震災以降、環境に対する人々の意識は一変したと感じます。「環境は意識して当たり前」となり、実践する人たちがスタッフの間ではエコーと呼びます)と接してきましたが、取材を通じて

感じていることは、環境を守るため一生懸命に取り組んでいる人ほど、命と真摯に向き合っていること、環境を守ること。自分を含む生き物の生態系を維持させたい。つまり、それは生きとし生ける命を愛おむ思いが底流にあります。そして震災以降、「環境を意識して当たり前」と世の意識が変わったもの論理からすれば納得いくのです。究極は「命ゆえの環境」なのです。RCCもこれまで環境を守るさまで

環境是人也

が県民の意識調査で「環境問題に積極的に取り組む放送局」と評価されているのは、こうした地道な活動があったからと思えます。「環境、是人也。結局、環境は人を通じてしか意識されず、また実践にも繋がらない。私はこの思いを胸に日々広島のエコーを取材しています。

(株式会社中国放送 ラブ・グリーン推進室 檜高正樹)

月	日	内容
4月	27日(金)	公衛協事務局担当者会議①(広島県公衆衛生会館)
6月	14日(木)・15日(金)	専門研修「基礎研修の開き方」(広島市内・環境協東支所)
	26日(火)	代表者会議定例会・募金委員会①(広島県公衆衛生会館)
7月	12日(木)~13日(金)	第51回環境保健夏季大学(グリーンピアせとうち)
	24日(火)~25日(水)	専門研修「企画づくり」(安芸太田町内)
8月	22日(水)・23日(木)	代表者会議専門部会①(環境・健康・組織)
9月	21日(金)	公衛協事務局担当者会議②(広島県公衆衛生会館)
	27日(木)・28日(金)	専門研修「広報・ツールづくり」(東広島市内・環境協東支所)
11月	1日(木)	第53回広島県公衆衛生大会(福山市・福山ビッグローズ)
	27日(火)・28日(水)	代表者会議専門部会②(環境・健康・組織)
1月	29日(火)	代表者会議定例会・募金委員会②(広島県公衆衛生会館)
3月	18日(月)	ブロック会議(環境協東支所)
	19日(火)	ブロック会議(三次市文化会館)
	21日(木)	ブロック会議(広島県公衆衛生会館)

※その他の事業、正式な実施日開催場所については4月27日(金)事務局担当者会議にて発表します。



環境と保健の未来をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表]

FAX:082(293)1520

かんぽきょう

検索



平成24年度地区衛生組織活動資金募集事業が始まります

地域ぐるみの活動に役立てる

よつと、四月七日を起に年間を通じて募金活動を実施します。

集められた募金は、地区衛生組織活動資金募集委員会が定めた要綱や使途遵則により、「公衛協」「環保協」「事務費」に配分され、さまざまな公衆衛生活動に役立てられます。

「公衛協」に配分された募金は、「地域一斉清掃」や「不法投棄パトロール」、地域のお祭り時にごみ箱のぼりを設置する「ごみの分別指導」、地域や社会の環境について学ぶ「水辺教室」や「脱温暖化学習会」、生活習慣病予防や健康づくりを推進するための「料理教室」や「ウォーキング大会」などに係る経費に充てられます。

地区衛生組織活動資金募集(健康感謝募金)事業は、世界保健デーの四月七日を「健康感謝の日」と定めた昭和三十三年から毎年実施しており、五十三回目を迎えます。

この事業は、健康で暮らせることに感謝し、さらに地域社会の人々の健康増進をはかる地域ぐるみの活動を実施し

健康であることに感謝 住みよい環境に感謝



平成二十四年度健康感謝の日をPRするポスター

「環保協」に配分された募金は、公衆衛生推進手帖や全県共通事業(重点メニュー)の「一万人のエコチェック事業」と「一万人の食チェック事業」におけるチェックカード

ドとマニュアル、「公衛協発ウォーキング事業」におけるナップバックやベスト、「広島発・瀬戸内海美化大作戦」におけるアドプト看板やのぼりなどの作成に活用されています。

「事務費」に配分された募金は、本募金事業をPRするポスターやチラシ、募金袋などの作成に活用されています。

このように、皆様から集めた募金は、公衛協の活動資金となり、さまざまな公衆衛生活動に役立てられています。

主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。(地域活動支援センター)

一広島県内のTEAM設立状況一

脱温暖化センターひろしまでは、地域コミュニティを母体とする地域協議会を「TEAM」と呼んでいます。

- T iiki (地域)
E co(エコ)
A ction(アクション)
M eeting(ミーティング)



※色付きが既設地域

庄原に「しいうエコ推進会」が誕生

同会は、庄原市敷信自治振興区の環境安全部を母体として設置され、同振興区の総務部や庄原市環境政策課、その他会の目的に賛同する個人などが会員となったもの。

設立総会では、庄原市公衆衛生推進協議会の宮本英

ライドを使って温暖化のメリズム、広島での暮らしや農作物への影響、センターが展開する、脱温暖化のまちづくりの推進体制などを解説した。また、お隣の三次市から「布野の食と脱温暖化を考える会」の会

長ほか三人が駆けつけ、取り組み事例を紹介した。同会は、地元小学校と連携し、食育や里山遊びを通じた脱温暖化活動のほか、廃油を使ったロウソクや石鹸づくりなどを進めている。



設立総会には約30人が集まり、活発な議論が交わされた

三月十五日に庄原市敷信(し)のうエコ推進センターで行われた設立総会で「しいうエコ推進会」が誕生した。これで県内のTEAM数は二十六となった。



近隣のTEAMがエールをおくる

である自治振興区環境安全部は、クリーンキャンペーンや花いっぱい運動、学校と連携した食育活動、里山の自然を生かした「森のようちえん」など、すでに多様な活動を展開している。

脱温暖化センターひろしまは、今後も全県的な脱温暖化のまちづくりを目指し、未設置市町を中心にTEAM設立に向けた人材発掘を行うほか、既存TEAMの個別支援やTEAM間での連携・協働などにも力を入れている。

トピックス：広島発・瀬戸内海美化大作戦

次世代にすばらしい環境を 11市町公衛協で65事業



道路脇の法面を複数の団体と清掃した(呉市安浦地区)

る事例をいくつか紹介する。

●事業を複合的に実施 「庄原市西城地区」では、瀬戸内海学習テキストを水辺教室で活用した。開催場所の環境学習に加えて、流域や海との関わりについても学んだ。

「福山市神辺学区」では、ウォーキング事業の中で池の環境学習を実施。油吸着材を参加者に配布し、台所から出る汚れについて考え、汚染防止を呼び掛けた。

●他団体と共同実施 「呉市安浦地区」では、大河ドラマ「清盛」のロケ地に選定されたことがきっかけとなり、複数の団体と清掃美化活動を展開。今後も継続して取り組んでいく。

●市町ぐるみで実施 「世羅町」では、河川上流部に住む者のマナーを参加者と考え行動することをねらいに、町ぐるみで「不法投棄戦国時代」(パトロールや回収作戦)を実施。多くの町民が参加した。

今回紹介した事例のほかにもたくさんの取り組みがあり、平成24年度は事例を共有できる場を整備していく。さまざまな事例を住みよい環境づくりに活用してほしい。(地域活動支援センター)

地区衛生組織活動資金募集(健康感謝募金)にご理解・ご協力をお願いします!

～4月7日は「健康感謝の日」～

昭和35年2月、広島市で開催された広島県公衆衛生大会「健やかな暮らしをつくる人々の集い」において、世界保健デーの4月7日を「健康感謝の日」と決めました。それ以来、4月7日を中心に、健康で暮らせることに感謝し、地域社会の人々の健康増進をはかる地域ぐるみの活動を実施しようと毎年募金活動を実施しております。

集められた募金は、募金委員会が定めた要綱・使途遵則により、各市町の公衛協や環保協に配分され、地域の公衆衛生活動のために使われます。町内会や自治会などから募金袋が回りますので、ご協力をお願いします。

今年度 第53回目

集められた募金の使途

- ごみの減量化と分別の徹底・リサイクル活動の推進
■道路、河川など生活空間の美化活動
■脱温暖化に向けたライフスタイルの推進
■次世代を担う子どもたちのための環境学習
■健康づくりのための教室や大会の実施 など...



脱温暖化推進員フォーラム開催

活動の成果や課題を共有



今年度実施した事業について成果発表と共有を行い、次年度の活動の方向性を探った

脱温暖化センターひろしまは、県内の地球温暖化防止活動推進員等が一堂に会し、実践事例や課題を共有しながら交流を深める「脱温暖化推進員フォーラム」を、二月二十九日に安芸区民文化センターで開催した。推進員のみならず関連団体、行政職員、他県センター職員など、約百名が参集した。

今年度初めて取り組んだコンソーシアム事業（複数の地域協議会や推進員による協働事業）の成果発表とワークショップを行った。

●エネルギー・セーブ 【成果発表】

六地域協議会が連携。お祭りや学習会などで省エネ診断を行い、その後、一月月間の省エネに取り組んだ成果をまとめた。二百六十九世帯が参加し、百九十八世帯から回答が得られた。結果を集約すると、平均で前年度比四％の削減で、総計四千四百三十三

この課題を解決するには、ストーリー性のある長期的な計画や推進員のコミュニケーション技術、知識の習得が必要といった意見が出された。

栽培方法の情報を求める人が多い。肥料や水やりのノウハウなどは、JA普及員や植物公園など、専門家の指導が効果的。また推進員相互の情報交換も必要。

三団体が連携。竹原市と大崎上島町を結ぶフェリー航路の待機所で、通勤客にアイドリッグストップの実践を呼びかけた。賛同した通勤客は、二月月間のアイドリッグストップにチャレンジし、実践した回数を記録してもらった。六十一人から回答があり、約四千キロワット削減効果があった。今後は、暑い日や寒い日の啓発活動やさまざま

取り組みの広げ方と、データ集約・分析について協議した



工夫を凝らし大きな効果 共有・改善する事が大切

④良いカーテンをつくる

これまでの連載で、グリーンカーテンには温度上昇を抑制する効果があることを報告してきました。効果を発揮するには、良いカーテンをつくるのが大切です。地域協議会のみならずさまざまな工夫を凝らしていることが分かった。いくつか紹介しよう。

①土づくり
水をやりすぎると根腐れが起き、少なれば枯れてしまいます。そこで、プランターの底に砕いた竹炭を混ぜ込むと、保水性と排水性が向上します。これは、炭の細かい穴（空隙）の作用によるもので、粉殻くん炭でも同様の効果があります。

②土の温度
効果が得られるようです。長時間直射日光が当たったり、焼けたアスファルトやコンクリートから熱が伝わると、土の温度が上昇しすぎて根が傷みます。

③水やり
土の温度が高いときに水をやると、蒸れて根が傷みます。また、苗に水をやりすぎると枯れます。水やりは毎日欠かさず行いますが、苗のうちは土が乾いたら与える程度、梅雨明けまでは朝夕どちらか一回、梅雨明け後は朝夕二回たっぷり与えましょう。



④設置場所
カーテンの効果を上げるには、直射日光をできるだけ遮る事が大切です。建物との隙間が大きいと、直射日光が入り込んで建物を暖めるので効果が上がりません。しかし、隙間が小さすぎると、風通しが悪くなります。直射日光を遮り、風通しが確保できる位置を確かめて設置しましょう。

このような工夫を共有し、改善することが大切です。役場や公民館などで行われるグリーンカーテン講習会に参加したり、地域協議会のメンバーに聞いてみるのも一つの手です。よりいっそうグリーンカーテンの輪を広め、猛暑も涼しく過ごしたいものです。
（脱温暖化センターひろしま（このシリーズ終わり））



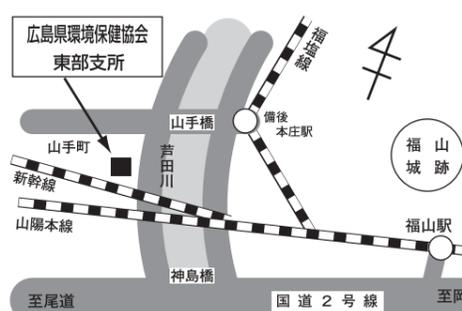
新たな展開できないかを協議した。
ガソリン使用を削減する「交通」をテーマにした取り組みや、街灯のLED化に合わせて家庭へも広げる取り組みが話題になった。

里山をテーマに竹炭を活かすなど多彩な意見が出された。これらの実現には、先進地との情報交換や取り組みのシンボルを設定することによって、効果的に他団体を巻き込むことが必要、といった提言があった。

フォーラムでは、推進員から活動PRやオリジナル啓発用グッズの展示があり、活発な情報交換がなされた。現在、広島県内では三百八十六名の推進員が活動している。センターは二十四年度地球温暖化防止活動推進員のレベルアップを目指す研修を行い、脱温暖化活動の拡充を図っていく。
（脱温暖化センターひろしま）

東部地区の検査受付は、支所でも行います！

食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など
【受付時間】月曜日から木曜日 8:30～17:30



財団法人 広島県環境保健協会
東 部 支 所
〒720-0092 福山市山手町5-32-26
TEL 084-952-0007
FAX 084-952-0009





黄色い花のシキミ(左上)、白い花をつけるアセビ(右上)、食べられる草のヨメナ(中)、食べると危険なトリカブト(下)

色・形・匂いを感じてスケッチ ポン酢や酢味噌がおすすめ

一九二二年に東京市から贈られたポトマック河畔の桜が満開を迎えたというニュースが、三月十九日に流れました。百周年を記念して、桜祭りが盛大に行われたようです。春は、野山の木の芽や草の芽・咲きにお花々が元気を出すときですと宣言しています。この力強いエネルギーを肌に感じながら、里山・里野を散策しましょう。

三月から四月にかけて、クロモジ、シロモジ、ダンコウバイ、カナクキノキ、シキミが黄色い花を、ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、ウグイスカグラが赤紫の花を、クサイチゴ、ヒロドイチゴ、ナガバミジイチゴ、アセビが白い花をつけます。林床にシユンラン、シヨウジョウバカマ、カタクリ、イチリンソウ、イカリソウが見られます。

七塚四季の環境学習



①春の山野草を楽しむ

「ヨメナ」と詠っています。早春の野原で若菜摘みを楽しんでいるようですが分かります。四月に食べられる木の芽は、タラノキ、コシアブラ、タカノツメ、ハリギリ、リョウブ、クサギ、ニワトコなどがあります。食べられる草は、ヨメナ、タンポポ、ヤブカンゾウ、ノカンゾウ、クサソテツ、オオバキボウシ、ノビル、ヨモギ、ツクシなどがあります。

春の山野草は、さつと茹でるか、アルミホイルで包み焼きにして、ポン酢又は酢味噌で食べるのがおすすめです。守ってほしいことは二つ！①採り過ぎないこと、②種類が分からないものは採らないこと(トリカブト、コバイケイソウ、ハシリドコロを山菜と間違えて食べる事故が時々起きています)。(NPO法人七塚原自然体験活動研究センター 理事長 西村 清巳)

せらの新エネ総合見本市

脱温暖化プロジェクトせら(世羅町地球温暖化対策地域協議会)が主催する「せらの新エネ総合見本市」が二月十九日甲山農村環境改善センターで開催され、町内外から約二百五十人が参集した。このイベントは、世羅町・近隣市町から企業・団体が集まり、参加者に環境にやさしい新エネルギーの特長や効果を伝え、親しんでもらうことを目的に初めて開催された。

屋外では企業などによるたくさんテントが軒を連ねた。もみ殻でできた固形燃料を作る機械、ペレットストーブ、廃油を精製したBDF、竹チップ製造機など、エコな燃料も行われた。度から始めた「グリーンカーテンプロジェクト」の表彰式も実施され、受賞者には表彰状と、世羅高等学校の生徒が心をこめて作った生ごみ堆肥を使った花のプランターが記念品として贈られた。参加者からは「さまざまな視点からエコを体感できた」と感想が聞かれた。

脱温暖化プロジェクトせらは、「脱温暖化せらのまちづくりプラン(世羅町地球温暖化地域推進計画)」に基づき取り組みを進め、今年で四年目を迎える。今後も、各主体が連携し、町民の意識へ働きかけながら、まちぐるみで脱温暖化を目指す活動に注目したい。(地域活動支援センター)



太陽光発電システムの展示ブースで解説を聞く来場者

エコなエネルギーのパワー体感 町内外の業者が多数出展

脱温暖化プロジェクトせら(世羅町地球温暖化対策地域協議会)が主催する「せらの新エネ総合見本市」が二月十九日甲山農村環境改善センターで開催され、町内外から約二百五十人が参集した。このイベントは、世羅町・近隣市町から企業・団体が集まり、参加者に環境にやさしい新エネルギーの特長や効果を伝え、親しんでもらうことを目的に初めて開催された。

水道事業者向け施設見学会の実施

平成24年1月31日に広島県健康福祉局食品生活衛生課水道グループ(以下、県水道グループと略します。)が主催し、当協会が共催して「水質検査の信頼性確保のための施設見学」を開催しました。施設見学には、県内の水道事業担当者17名と水道行政担当者14名、合計31名の参加がありました。

安全と安心を守る検査室 高精度なデータを迅速に提供

施設見学では、水道水質検査室や検査機器室を参加者が興味深く見て回り、検査室を清浄に保つため、室内の気圧を高めに設定し、空気が室内から室外へ流れるようにするなどの汚染防止対策や、検査項目ごとに複数台設置された最新鋭の機器に高い関心を示していました。



分析結果をパソコンで処理している様子

施設見学後は、当協会の水道水質検査担当課長が、信頼性の高い検査結果を提供するためにやっている取り組み内容を説明し、最後に、出席者と県水道グループ、当協会の意見交換を行いました。当協会は、広島県内で多くの水道水質検査を行っています。検査機関として、清潔な検査室で迅速に検査結果を提供できることが重要と考えています。今後も、迅速で信頼性の高い検査結果をもとに、県民の方々へ安心で安全な水道水が届けられる一助となることを願っております。(業務開発課 柚山 豪志)

水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ



広島県では、一年に1回水質検査を行うことを推奨しています。

HEROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
NPO法人 広島県環境保健協会
(水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関)
広島市中区広瀬北町9番1号

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください ☎ 082-293-0163



④ 山菜・山歩き

春の山は苦味がおいしい

「あく」の攻略が腕の見せどころ

【山菜】
日が長くなり、雪が溶けると、里山の新たな楽しみが始まる。

まります。春の楽しみはなんと、春の山菜。ウド・ワラビ・タラが有名ですが、そのほかにも、ゼンマイ、フキ、フキノトウ、イタドリなどたくさんある山菜が春の木漏れ日を含んで顔を覗かします。調理方法も多彩で、天ぷら、酢味噌で刺身、塩茹で、お浸し、塩漬けなど、先人たちがおいしい食べ方をたくさん見つけてきています。

春になると山菜を摘みに山に入り、山菜を題材にした体験学習や料理教室を開催される方も多いでしょう。がんばって採取した山菜は、おいしくいただきたいですね。

そこで、今回は、「お手軽簡単サクサク米粉天ぷらレシピ」を紹介し、山菜が山菜たるゆえんは、「あく」にあります。この「あく」を残さず、抜きすぎず、上手にあく抜きすることが山菜料理の腕の見せどころです。

山菜米粉天ぷらレシピ

- 材料&器具 ●
- 米粉、水、卵、山菜、油、鍋、コンロ、ポウル、パット

① 山の料理に、細かい分量は不要です。ポウルに卵、米粉、水（米粉に対して、少し多めの水）を入れて溶きます。

② 油を温め、摘んできた山菜に米粉の衣をまぶして揚げます。

※あなたの里山の山菜に合ったブレンドを研究してみよう!!



採れたて山菜に米粉をつけ油で揚げる。山菜の生育環境は、山・里山・里など生活エリアを区分し、自然の復元力を損なわないように恵みを受けてきました。近年その心

「あく」とは、食品に含まれる渋み・苦み・不快な臭いなどの元となる、食事に不要な成分の総称です。硝酸、シユウ酸などの有機酸、タンニンなどのポリフェノール類などが成分といわれています。

いずれも水溶性なので、水にさらすと除去できますが、「あく」も適度な量なら食材の個性な味覚の一部です。除きすぎると特有の風味を失うこととなります。



③ 北広島町公衛協 [エコで団らんプロジェクト]

北広島町公衛協の脱温暖化委員会は、平成十九年度温暖化防止のために取り組む項目をまとめた「脱温暖化8カ条」を制定した。以降、この8カ条の推進をキーワードに、さまざまな温暖化防止活動を展開している。



協力してくれた子どもたちに「CO2 CO2減らしたで賞」を授与(上)、藤田会長から子どもたちへ賞状と副賞が手渡された(下)

公衛協から町内へ 子どもたちが家庭の消費電力を調査

ヤワの使いすぎに気がつけ、家族で間隔を空けずに入ることの二項目を推進するため、「エコで団らんプロジェクト」を実施した。

このプロジェクトでは、まず、自宅の部屋数や暖房器具数、照明や暖房器具の消費電力、給湯の種類などを調査

した。次いで、十一月と十二月の二カ月間、家族が一部屋に集まる団らん、どのくらいエネルギー使用量を削減できるかを推計。

取り組みは、新庄小学校と南方小学校の計三十七世帯にご協力いただき、毎日、家族が揃って過ごした時間とお風呂の追い炊きの回数を記録していった。

一月には調査の結果が集まり、集計した結果、団らん時間の合計は約七千二百七十六時間。二酸化炭素削減量は約七・三トンにも及んだ。

協力してくれた児童には、脱温暖化笑こきたひろから、



子どもたちには副賞として北広島町の脱温暖化8カ条がプリントされた図書カードを呈呈

「CO2 CO2(二ツコ)減らしたで賞」が授与され、これからは一緒に温暖化防止を目指しましょうと締めくくった。取り組みは、児童からは、「家族と話す時間が増え楽しかった」「会話の

また、「今後は、今回の調査結果の伝え方や、もっとたくさんの人に団らんを通じた省エネを実践してもらえるよう活動を展開していきたい」と同会では意気込んでいる。

団らんという切り口の省エネ活動の進展に期待したい。(地域活動支援センター)

自然の恵みを再認識 再生には長い年月が必要

「の芽」の話が挙げられます。言わずと知れた春の山菜の代

【山歩き】
きれいな風景を見たい、動物の写真を撮りたい、タケノコや山菜・きのこなど季節の味覚を楽しみたい、頂上で大きな声で叫びたい、美しい自然の中で癒されたい、などそれぞれの思いを胸に、人は里山に分け入り入ります。

境によって「あく」の量も異なるようです。みなさまの身近な里山の「あく」を攻略する方法を研究してみたいかがでしょうか。

表格式です。春になると新芽が顔を出しますが、この新芽を全部摘み取ってしまう人がいます。タラの新芽は前年に伸びた枝だけに付きます。木のことを知り、木を枯らさず、翌年も収穫できるように芽を残す配慮をする。自然の恵みをいただくマナーです。



かもしませんが、地元の人たちが固有種を守ろうと尽力されている場合があります。一度壊された自然を元に戻すには、長い年月が必要です。私たち人間は自然の宝物を楽しませてもらっているといつことを再認識し、行く末長く自然の恵みを楽しみ、先人から学ぶ必要があると、思っています。

(地域活動支援センター) 馬場田 真一

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド（ホルマリン）について、作業環境測定を行う必要があります。当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先 ○ 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (財) 広島県環境保健協会 環境生活センター 環境調査課 TEL: 082 (293) 1511 (大代表) FAX: 082 (293) 5049 URL: http://www.kanhokyo.or.jp/



埋立処分量ゼロへの取り組み

ごみは200万世帯の電力をまかなえる



いよいよこのシリーズも最終回となりました。今回は、循環型社会の構築に向けた重要な役割を担っている地方公共団体の役割を紹介し、シリーズのまとめとして循環型社会が実現可能か考えます。

地方公共団体は、地域における住民・事業者の循環型社

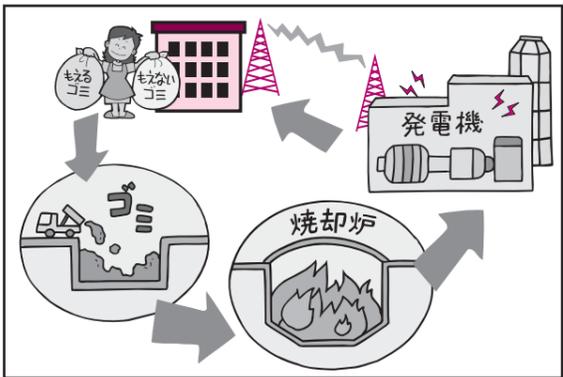
③ 主役は地方公共団体

会構築への取り組みに対するきつかけづくりや調整など、コーディネーターの役割を果たしています。具体的には、資源物や廃棄物の分別収集と適正処理、ごみ焼却施設やリサイクル施設、埋立処分場などの廃棄物処理施設の整備、住民や事業者への3Rの普及啓発、環境教育・環境学習の推進、民間団体との連携など多種多様な行政サービスを行っています。

この中の廃棄物処理施設の整備では、循環型社会の構築に向けて、燃やすときに発生する熱エネルギーから電気を生み出す「発電機」の設置を推奨しています。

廃棄物の発生が完全にゼロとなる生活や事業活動は現実的には不可能ですが、最終的に自然界に廃棄（埋立処分）されるものをゼロにするのは充分可能です。

そのためには、国民・事業者・地方公共団体の負担が少なく、効率的・効果的で、持続可能な取り組みが重要であり、各主体が日頃から循環型社会を意識して生活すること



ごみを燃やす時の熱エネルギーを有効活用して発電

みんなの助っ人！ 環境カウンセラー

おが 68 ひでり 岡 秀憲

福祉、環境、文化芸術等のさまざまな視点からまちづくりを推進するNPO法人の理事として活躍している岡さん、これまでの取り組みや環境カウンセラーとしての思いについて語ってもらった。

◆これまでの活動について
各種団体や「環境カウンセラーひろしま（広島県内の環境カウンセラーネットワーク）」が主催する市民向け講座などで、「地球の歴史と環境問題」「地球環境問題」「まちづくり」などをテーマとした講演を行っています。また、理事をし

歴史から環境を考える

まちづくりや親子体験をお手伝い

◆カウンセラーになったきっかけ
農作業体験を企画運営し、種まきから収穫して食べるまでを体験してもらい、親子でできる地球に優しい生き方のお手伝いをしています。

◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。

◆環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【環境保協】（〇八二―二九三―一五二）担当田まで

かけ
長年、公共事業を請け負った建設会社に勤務し、地球を彫刻（自然を破壊）してしました。強大な自然の力に対して畏敬の念を持ち、自然と対峙し、日本の国のための公共建設

度があることを知り、挑戦しようと思いましたが、これからの住民と一緒に取り組むこと



講演で環境の大切さを伝える岡さん

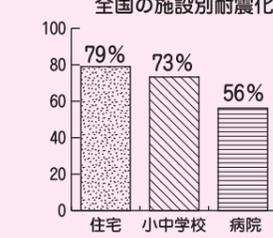
身近な材料試験

① 材料試験ってなに

広島県環境保健協会の材料試験室といっても馴染みのない方が多くおられ、一般のお客様からは「材料試験室は何をやる場所ですか?」とか、同業者の方からは「何で広島県環境保健協会が材料試験をしているの?」とよく聞かれます。

この問いかけに答え、現在、当協会が行っている材料試験の業務内容について、紹介します。

まず、材料試験室の生い立ちですが、広島県土木建築部技術管理課が行っていた建設工事材料等の試験業務の廃止に伴い、平成元年4月、この業務を継続して行う機関として、当協会の前身である「広島県地区衛生組織連合会」が業務を引き継ぐことに



◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。

◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。

◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。

◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。

◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。

◆「これからの住民と一緒に取り組むこと」
「人類が住む地球のある銀河系を含む宇宙の七十五%は、暗黒物質でできていると言われていた」といった最新の科学や、学校では教えてもらえなかった「江戸の暮らし」などを紹介することで、これからのまちづくりや地球に優しい暮らしに貢献したいと思っています。



建設工事材料の各種試験を受付!

コンクリート試験、骨材試験、アスファルト試験など
【受付時間】月曜日から金曜日 8:30~17:30

財団法人 広島県環境保健協会
吉島分室 (材料試験室)
〒730-0825 広島市中区光南3丁目13番
TEL (082) 249-9535
FAX (082) 249-6473

トピックス がん検診のすすめ

定期的に受診していますか？

早期発見は1〜2年以内

広島がんネット

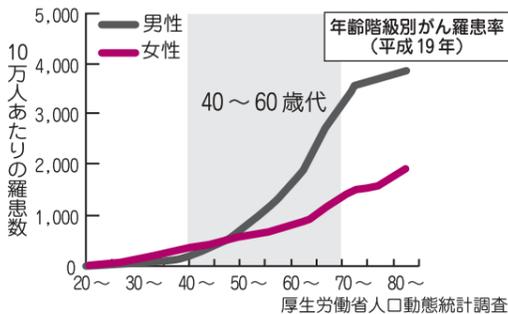
検索

現在、日本人の二人に一人が「がん」になり、三人に一人が「がん」で亡くなっています。

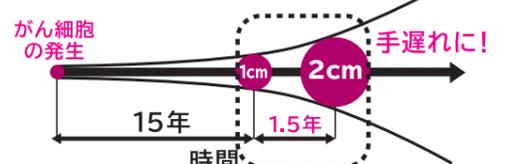
広島県では、現在、死亡者全体の約三割にあたる年間約八千人の方が「がん」で亡くなっており、その数は年々増加しています。なかでも、四十歳代から「がん」にかかる人が増加しています。しかし、医療技術の目覚ましい進歩により、早期にがんを発見すれば、多くの方が治るようになってきています。

定期的ながん検診の受診で早期に見つかった場合と、自覚症状が出てから見つかった場合とでは、五年生存率は大きく異なります。

●早期がんのうちに発見できる時間は、たった1〜2年でがんを早期に見発見するためには、自覚症状のないうちに、



<乳がんの例>



がん検診を受けるほかありません。乳がんを例にした図にあるように、がん細胞が早期である一センチから二センチになるのに、年々からならないため、この間に検診で見つけなければいけません。つまり毎年、がんによっては二年に一回、定期的な受診が必要となります。

現在、広島県内のすべての市町で、がんの死亡率を減少させる効果があると認められたがん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診)を実施しています。

●市町のがん検診を活用して、ぜひ受診しましょう。広島県のがん情報サポートサイト「広島がんネット」では、がん検診の情報をはじめ

食の語

⑫ 食器具

食品衛生法の規制対象

乳幼児のおもちゃは食べ物と同様に

近年、消費者の食の安全・安心に対する関心が高まっています。私たちが普段口にしている食品は、食品衛生法をはじめ、何らかの法律によって管理されていることをご存知の方も多いと思います。

それでは、食品の調理や盛り付けで使う食器や、保存容器・包装はどうでしょうか。実は、飲食に使用

する食器も食品衛生法で規制の対象になっており、食品の容器(ペットボトルなど)や包装(ラップなど)も同様です。これらは、食品と接触することから、化学物質等の溶出により食品が汚染されないようにする

は、合成樹脂・ゴム・ガラス・陶磁器・金属などがあります。それぞれの材質で個別の試験法や基準値が定められており、食器等の使用目的によっても同様です。例えば、水・油・アルコール・酢・ソースなどの酸性の物)に

また、おもちゃは乳幼児が口に入れる可能性が高いので、食器・容器包装の考え方に準じて、食品衛生法の規制の対象になっています。このように、直接口にす

触れるものでは、それぞれ検査法が異なり、使用温度によって基準値も異なります。そして、このように細かく定められた試験に適合したものでなければ、製造・輸入・販売することができません。

のを規制することにより、私たちの食の安全は総合的に守られているのです。食器選りや食事をすすむときに、このことを思い出していただければ幸いです。(分析三課 畑 夕子 (このシリーズ終わり))



血液検査から読む病気の予防

① 身近で怖い貧血

健康診断や献血の際に手元に届く血液検査の結果を、みなさまはどのようにご覧になっていらっしゃるでしょうか。このシリーズでは検査項目の説明と、原因や予防、どのような病気につながるかを、6回にわたり解説していきます。

貧血というと、「血が薄い」と思われる方が多いでしょう。「血が薄い」とは、どういう状態でしょうか？

は赤血球に含まれる『ヘモグロビン』の量が不足した状態をいいます。ヘモグロビンはヘムという赤い色素を含んでいるので、血液が赤く見えます。このために、貧血は血が薄いと思われるでしょう。

ヘモグロビンは、酸素を身体の隅々に運ぶ重要な働きを担っています。ヘモグロビンの構成成分に鉄は欠かすことができません。鉄が不足すると貧血になります。貧血の8割以上が鉄欠乏性貧血といわれています。

原因は、①偏食や無理なダイエットによる鉄不足、②胃潰瘍や十二指腸潰瘍、消化器のがんから出血して鉄が失われている場合、③痔出血が原因の場合、④婦人科的疾患の子宮筋腫などです。さらに、女性は1回の生理だけでも約20mgの鉄を失っているといわれ、男性よりも圧倒的に鉄欠乏性貧血になりやすいといえます。簡単に鉄欠乏性貧血といっても、その原因には恐ろしい病気が隠れているときがあります。

貧血の症状としては、疲れやすい・だるい・めまいがする・動悸、息切れ・爪の変形や枝毛、抜け毛が増えたりするのが一般的です。慢性的に起こった貧血では、なかなか症状が現われにくい場合があります。こうした自覚症状があっても「大したこと無い」と、自己診断してしまうのはとても危険なことです。また、鉄欠乏性貧血だけではなく、特殊な血液疾患が原因のこともあります。健康診断の赤血球数やヘモグロビンの結果を確認してみてください。数値が基準値を下回る場合は、医療機関を受診しましょう。(臨床検査課 角森 富美枝)

「大したこと無い」の自己診断は危険

赤血球数とヘモグロビン値を確認



人間ドックオプション検査 元気で長生きするための新しいドック (お申し込みはお早めに!)

アンチエイジングドック

フリーラジカル(活性酸素)をはじめ、血管年齢、ホルモン年齢、骨年齢、体力年齢、肺年齢、認知症の有無、腎能力を総合的に把握し、いつまでも若さを保つ、老化予防の知恵をアドバイス。

料金：52,500円

動脈硬化ドック

動脈硬化に焦点を当てた働き盛りの方へのオプション。感化ストレスのマーカー、動脈硬化のマーカー、MC-ファン、頸動脈エコー検査、脈波検査を実施。

料金：25,000円

更年期ドック

ホルモン検査による更年期の判定、および骨粗しょう症検査を行います。性ホルモン(FSH、エストラジオール)超音波骨密度検査。

※対象：女性のみ

料金：7,500円

財団法人広島県環境保健協会
健康クリニック
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
TEL 082-232-4857 FAX 082-293-2214

*その他、会員制PETドック、政管・健保ドック、特定健診を実施できます。詳細はお気軽にお問い合わせください。



◆県有林のCO2排出権販売

広島県は、県有林がCO2を吸収する機能を権利化し、企業などに販売する事業を始める。

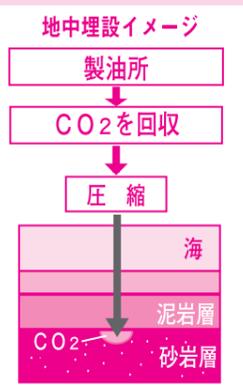
県は11年9月～11月、北広島町芸北地区のヒノキ約44畝で間伐を実施。密生を防ぎ、日当たりを良くして木が成長しやすい環境を整えた。その結果、環境省の制度に基づき、手入れ前と比べCO2を吸収できる量が年間185トンを増えたと評価を得た。4月をめどに購入先を公募する手続きに入る。年間200万円の収入を見込み、契約年数などは今後詰める。県は12年度も、三次市君田地区でヒノキ林約50畝の間伐を予定している。

CO2の排出権を売買するための環境省の認証制度は08年にスタート。地球温暖化防止を目的に、温室効果ガスの削減効果を第三者機関が検証し、信頼性が高い。企業側には、排出権を買うことで企業活動で排出するCO2を相殺し、環境に優しい姿勢をPRできる。

◆CO2海底地層へ封じ込め
経産省は、発電所や工場から排出されるCO2を回収し、高い圧力をかけて地中に封じ込める技術の実証試験を北海道苫小牧沖で始める。2012年度に試験施設的设计、建設に着手し、16年度の運転開始を目指す。

CCSと呼ばれる技術で、ノルウェーや米国で開発が進む。温暖化対策の一つとして期待され、今回の試験では年10万トン以上のCO2を海底の地層に封じ込めて貯蔵する。
計画では、苫小牧市と室蘭市の製油所から出るCO2を回収し、パイプラインやタンクローリーで輸送。地下1,100～1,200メートルと2,400～3,000メートルの2つの砂岩層に圧力をかけて送り込む。それぞれの砂岩層の上には泥岩層があり、CO2が外に漏れないよう、ふたの役割を果たす。

経産省は03～05年にも約1万トンを地中に封じ込める実証実験を新潟県長岡市で実施。計算上は、1,000年後もCO2が漏れないことを確認した。



◆ポリオワクチン接種控え顕著に
乳幼児に対する昨年9～12月のポリオ（小児まひ）の生ワクチン接種率は、前年同期に比べ15.2ポイント低下の75.6%だったことが、厚生労働省の調査（速報値）で分かった。調査は、春と秋の2シーズンに定期接種を実施している全国1,282市区町村を集計した。

これまでの予防接種率は95%前後で推移。厚生労働省は、安全性の高い不活化ワクチンの導入まで接種を控える保護者が増えたとみている。

ポリオの生ワクチン予防接種は乳幼児が生後3カ月～1歳6カ月の間に2回受けるのが一般的。ただ、100万人に1.4人の割合で副作用の麻痺が生じる恐れがある。厚生労働省は、今年秋に不活化ワクチンの導入を目指しており、「予防接種を控えると免疫を持たない人が増え、ポリオが流行する危険性がある」として、生ワクチンの接種を呼びかけている。

厚生労働省によると、接種率は、2010年4月～8月が09年に新型インフルエンザの流行で定期接種を中止する自治体が相次いだ影響で99.4%と高かったが、10年秋は90.8%に低下。11年はさらに低下が続き、春が83.5%、秋が75.6%にまで落ち込んだ。

◆腹囲基準内でも 非メタボに保健指導
厚生労働省は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に注目した特定健診・保健指導（メタボ健診）で、腹囲が基準値未満のため「メタボ」とみなされない人でも、高血圧や高血糖などの危険因子を持つ場合、きめ細かな保健指導を行うよう、事業者や市町村に求める方針を決めた。

男性85センチ、女性90センチの腹囲基準は見直さず、新たな保健指導は、メタボ健診制度とは別の枠組みで行う。同省の「健診・保健指導の在り方に関する検討会」で28日に中間とりまとめを行い、2013年度の制度見直しに反映させる。

現在のメタボ健診は、腹囲が基準を超え、高血圧、高血糖、脂質異常の危険因子があると、特定保健指導の対象となる。しかし、腹囲が基準値未満だと、体格指数（BMI）が25未満なら、危険因子があっても指導の対象外だった。

厚生労働省研究班の調査で、腹囲が基準値未満でも、危険因子が重なる、心臓病や脳卒中の発症の危険性が同じように高まる

ことがわかり、同省は、危険因子を持つ、こうした人たちを放置できないと判断した。



（文責：地域活動支援センター）



講演を熱心に聴く参加者の方々

食の安全・安心をテーマに毎年実施している食のセミナーを二月十五日に開催した。当日は食品事業者、行政関係者など九十一名の方が参加した。今年度は財団法人東京顕微鏡院の伊藤武理事に「食品衛生と危機管理」と題し、食中毒の発生件数が減少していないこと、過去の食中毒汚染からの学び、自らが衛生管理・自主検査を推進する必要性について講演いただいた。続いて、NPO法人食の安全と安心を科学する会の高橋治男理事に「カビをめぐっての危険と安心・安全」と題し、カビの特徴から始まり、カビ毒の中で一番問題となるアフラトキシンの話題や国内におけるカビ毒の規制などについて講演いただいた。参加者からは、「衛生管理の大切さが分かった」「勉強になった」等の感想をいただいた。当協会は、これからも食の安全と安心のために情報を発信してまいります。

平成23年度食のセミナー開催

食の安全と安心のために

BESTチェックキャンペーン速報

意見が活きる活動へ

「一万人のBESTチェックキャンペーンアンケート」にご協力いただきありがとうございます。アンケートの結果、今後の公衛協の発展や展開を考へるにあたり、公衆衛生推進手帖や重点メニューの事業を推進委員のみならず、ご意見を積極的に活用させていただきます。三月三十一日現在で二千四百三十三通の回答を頂いています。

これからの、お寄せ頂いたご意見を集約し、情報紙や研修会で紹介するとともに、これからの活動がさらに「環境と健康の視点で地域コミュニティを守る」という公衛協と環境協の理念につながるよう、活動メニューやツール作成の際に参考にしていきます。またアンケート用紙をお持ちの方がいっぱいありました。市町公衛協事務局へご提出ください。（地域活動支援センター）

110万人のエコ講座終了 2000回を超える講座を実施

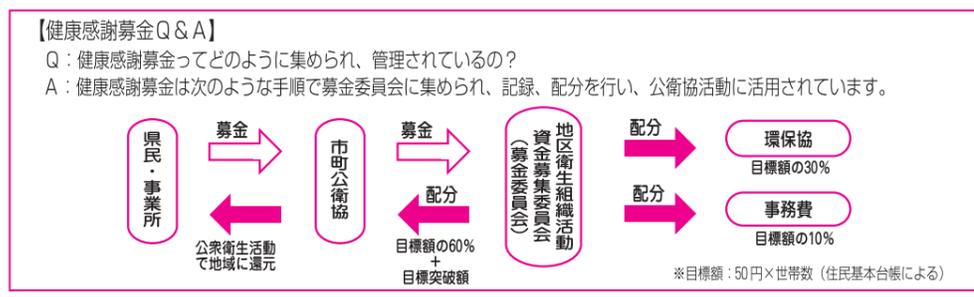
平成二十二年二月に開始した広島市「10万人のエコ講座」が三月二十日で終了した。この間町内会をはじめ地区公衛協や地区社協、女性会、いきいきサロンなどのさまざまなグループ活動、公民館講座、

公民館まつり等のイベントで二千回余りのエコ講座を実施した。この事業のねらいは、広島市民を対象に「ごみ減量・リサイクル」及び「地球温暖化対策」の現状と課題を伝え、これらを解決するための知識の向上と、家庭や地域における取り組みの促進である。牛乳パックはスーパー等の店頭回収に持参すればごみ減量につながり、紙類は名刺サイズ以上が資源ごみとしてリサイクルされることなど具体的に紹介した。また、白熱電球、電球形蛍光灯及びLED電球の消費電力を測定機器を使って比較し、蛍光灯やLEDが省エネであることを確認してもらった。

当講座は、生活に密着した具体的な取り組みの紹介で理解しやすい内容となり、受講者から好評を得て、多くの方から終了を惜んでいただいた。今後は、市民の取り組みがごみ減量など数値となって現れることを期待したい。（地域活動支援センター）

健康感謝募金 地区衛生組織活動資金募集
市町別一覧表 (平成24年3月末現在)
健康感謝募金総額 61,392,779円
募金総額表: 呉市 8,358,539円 (達成率149.7%), 府中町 1,725,650円 (162.6%), 海田町 2,635,144円 (449.8%), 熊野町 1,483,320円 (289.2%), 野坂町 405,550円 (145.0%), 江田島市 2,045,726円 (308.7%), 竹原市 1,806,500円 (278.7%), 大崎上島町 355,700円 (160.2%), 大竹市 2,684,000円 (427.0%), 廿日市市 3,565,926円 (232.4%), 廿日市市佐伯 452,609円 (185.2%), 廿日市市吉和 97,900円 (487.1%), 廿日市市大野 2,560,900円 (458.8%), 廿日市市宮島 216,800円 (499.0%), 安芸太田町 861,400円 (499.4%), 北広島町 1,191,000円 (291.3%), 安芸高田市 2,176,600円 (328.4%)

健康感謝募金は、昭和35年から実施し、平成24年度で53回目を迎えます。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。



【健康感謝募金Q&A】
Q: 健康感謝募金ってどのように集められ、管理されているの?
A: 健康感謝募金は次のような手順で募金委員会に集められ、記録、配分を行い、公衛協活動に活用されています。
※目標額: 50円×世帯数(住民基本台帳による)